■No.23　K氏　（社会人，長期海外経験あり）

小学校	中学校	高校	大学	1年	大学(1年)、大学院(2年)	社会人

5年生

長期休暇の度にアメリカへホームステイに行く

初めは嫌だったが、2週間くらい経つと慣れて話せるようになった

リスニング

〈言語学習の言動力〉
〇中学校の厳しい英語の授業から離れると英語力が落ちると気付いたから
〇進学や就職によって新たな言語が必要となったから

1年生

中学校で厳しい英語の授業を受ける

語彙　文法　ライティング　スピーキング

〈英語の授業〉
〇何度も英単語を書いて練習をした
〇教科書のフレーズを全部暗記した
〇暗写の小テストを毎回した
〇筆記体で書いて、単語をリズムや動きで覚えた
〇文法は言う・書く・見るをセットで覚えた

母や小学校、サマースクールで基本的な文法を勉強していた

2年生

アメリカへ行くのを止めて話す感覚がなくなっていく

中学卒業時に英検１級を取得する

高校の英語の授業は簡単だった

書き言葉は今までと違う英語のようで楽しかった

小学校5年生から読書をするのが趣味だった(地図、百科事典、旅行ガイドブック、時刻表、本)
特に、伝記は沢木耕太郎のシリーズや李登輝、リークアンユーを大学入学時(1995年頃)まで読んでいた

ブリティッシュ・カウンシルに通い始める

1回3時間、週3回

文法　リーディング　ライティング

父に反対されてイギリス留学を断念した

1年生

N大学商学部に入学する

アメリカ人の教員が多い

台湾人や香港人に出会い、英語のある環境で生活することを決意する

1年生から5年間アメリカ人が多く来るレストランでアルバイトをしていた

24歳

シドニーの大学に1年留学後、シドニーの大学院へ進む

原書多読

〇アジア人が多かったので中国語に囲まれた生活をした
↓
〇半年で中国語が理解できるようになった
↓
〇1年で中国語が話せるようになった

中国語

TOEFL（PBT）600点

27歳

台湾の会社に就職する

分からない言葉を紙に書いて何度も教えてくれた

27歳

最初の赴任地がタイに決まる

半年でタイ語を話せるようにした

タイ語

〈言語を身に付ける方法〉
〇適切な条件・環境があれば(必要に迫られれば)言語は覚えられる
〇既習の言語同士を組み合わせて覚える
〇声調は耳で覚える